第16回

役員訪問　聞かせてください

・生年月日　昭和23年11月29日
・出生地　旭川市
・出身大学　岩手医科大学
　昭和50年卒
　北大・旭医大第三内科

聞き手／常任理事　藤井美穂

●美的感覚とハードボイルド

藤井　原田先生のお好きな言葉は「ハードボイルド」。作家チャンドラーの名句ですね。

原田　「男は強くなければ生きていけない。優しさが無ければ生きる資格がない」。男を医師と置き換えて、座右の銘にしています。

藤井　医師には強さと優しさを併せ持つことが求められる･･･。

原田　体力、意志力が無ければ医師は務まらない。同時に患者さんに対する優しさ、思いやりがなければいけないと思っています。

藤井　加えて美意識も大切であると原田先生はおっしゃっていますね。

原田　1986年に当院（はらだ病院＜旭川市＞）を改築するときに、グリーンやピンク系の柔らかな色彩を採用しました。さらに、患者さんやご家族に良い印象を持っていただけるように、看護職スタッフの歩き方や姿勢に、美意識を持つことを求めています。

藤井　今日の服装もおしゃれですね。靴もきれいに磨かれている。

原田　小学校の頃、雨が降ると登校するのが嫌だった。靴が汚れるのが一番嫌いでね(笑)。

「シャトーマルゴー」オーナーのコリンヌ・メンツェルブーロ女史と

美的感覚の話を続けると、内視鏡で腫瘍の撮影をする場合、腫瘍の形をどのように見せるのか、短時間でベストアングルを決断するときに、ただ撮るのではなく美意識（？）が求められる。

藤井　私も卵管鏡撮影のとき説得力のある画像を撮影できるように美意識を磨きます(笑)。

●病理に進みたかった

原田　小学校の低学年の頃から「お前は医者になる」と周りから言われており、そうなのかなと思っていて、ボーッとそのまま医師になった。医師以外の職業は考えたことも無かった。

藤井　お父様(原田一民先生＜元旭川市医師会長＞)の影響が大きいのですね。

原田　子供の頃、父が馬橇で往診に行くのに一緒について行った記憶もある。

貧しい患者さんからはお金を受けとらなかった。「お金は（払わなくて）いいから」とよく言っていた父は、今年米寿を迎えました。

開業医、町医者の苦労を見て育ちましたから、自分は病理の道を歩みたいと思っていました。

藤井　北大･旭医大三内を選ばれた理由は？

原田　父の病院に最新の内視鏡があって、それでトレーニングしていたので内視鏡に興味があったからかな。

藤井　並木正義先生の下で修行なさったのですね。

原田　三内時代、私が30歳代前半の頃、アカゲザルの「ストレス潰瘍」実験映画が、ハンブルグでの国際消化器病学会でパブロフ賞を受賞しました。並木先生をはじめ実験を担当した我々は、受賞することなど夢にも思っておらず、もちろん事前の連絡も無く、正装やカメラの準備もしておらず､受賞の写真も残っていません。

藤井　残念でしたね。

原田　表彰式では並木教授の指示で、私が壇上で表彰状を受けとりました。そのとき「あなたがProfessorか？」と聞かれ、「いいえ」と返事したときのプレゼンテーターの驚いた表情が印象的でした(笑)。

藤井　アカゲザルのストレス潰瘍には性差の違いはありましたか？

北海道医師会　常任理事　原田一道（はらだかずみち）

原田　メスには発生しなかった。
藤井　性ホルモンの関係ですか？
原田　ストレスを防御する能力を女性は持っていると考えられます。
藤井　ストレスは山ほど持っていますよ。胃壁はボコボコ穴あいてると思いますが（笑）。

ノーベル賞（H. Pylori発見）のウォーレン教授とマーシャル教授。マーシャル教授からノーベル賞の金メダルを見せていただいた。2006年12月、東京にて

●講演から引退したいと思ってる

原田　今年の12月に内視鏡学会北陸地方会が金沢で開催されます。その基調講演を私の引退講演にしようと思っています。講演する際にはいつも新しい話題を盛り込みたいと勉強してきたのですが、来年60歳ですから少々疲れてもきている。退屈な話もしたくないし。
藤井　美意識が許さないのですか？（笑）。医師会活動は続けてください。
原田　医師会は日本を変える能力を持つと考えています。広く多くの方に、医師会を正しく理解してもらえるような努力を続けたいと思っています。

ヘリコバクター学会にお招きしたウォーレン教授（前列右）。竹本日本消化器病学会名誉会長（前列左）、後列右はウォーレン教授の息子さんのお嫁さん（日本女性）。2006年10月、神戸にて

インタビューを終えて

常任理事　藤井美穂

美意識を持ち続ける強さと、しなやかさ

現実に直面して多くの人が、心も体も、そして夢もすり減らしています。原田先生は青年の雰囲気を失わず、少しもすり減った様子がありません。原田先生の美意識感から勇気をいただきました。

原田ソムリエ（？）厳選のワインをご馳走してくださるとのお誘い、楽しみにしております。